

森林はクリーンな水を生み出し、土砂を安定させ、土砂災害などが起こりにくくしています。また、地球温暖化の原因となる二酸化炭素を吸収したり、何百万種類もの動植物に住みかや食べ物を提供しています。さらに、熱帯林の中やその周辺に暮らす人々に、食糧や家を建てるための材料を提供してくれています。これらはすべて森林の恵みです。

このように、熱帯林は私たちに多くの恵みを与えてくれています。それなのに、なぜ熱帯林は減少し続けているのでしょうか？この数世紀の間に、世界中でたいへんな面積の森林が失われました。こうした森林の減少は、熱帯地域では今なお続いているのです。私たちは、なぜこのようなことをするのでしょうか？

それは、農作物をつくったり、鉱物を掘り出したりすることにより、熱帯林を守るよりも多くの収入が得られるからです。あちこちで、私たちに多くの恩みをもたらしてくれる熱帯林が、農地や鉱山、都市などに変えられているのです。



国際熱帯木材機関(ITTO)は、こうした熱帯林の価値がより広く認められれば、熱帯林は農地、鉱山、都市などの開発に対抗して持続的に維持できると考えています。

とりわけ世界中の人々が、熱帯林が生み出す恵みのすべてに対して公正な対価を支払ってもよいと考える必要があります。

また森林は、将来にわたって継続的に管理されていかなければなりません。つまり、木材の収穫やそれ以外の財やサービスの利用のために、森林を傷つけてはいけません。

ITTOは、熱帯林の持続可能な経営などを進めるために、しっかりとした計画を作成した上で、次のような取り組みを進めています：

- ▶ 持続可能な方法による木材の生産やそれ以外の財やサービスの提供に向けて、熱帯諸国を支援し、熱帯林の持続可能な経営を進めます。そして、環境を保全しつつ、同時に経済的・社会的な発展を促します。
- ▶ 熱帯林のもたらす財やサービスが、国際市場でより大きな価値を持てるよう取り組みます。そうすれば、森林の所有者や管理者はより多くの収入を得られるようになり、自分たちの森林を農地、鉱山、都市などにしないで済むようになるでしょう。
- ▶ 熱帯諸国を支援して、保護林のネットワークづくりを進めます。
- ▶ より多くの人々に、その恵みゆえに森林を大切にしなければならぬことを理解してもらえるように努力します。



ITTOとは？

- ▶ ITTOは、熱帯林持続可能な経営と、持続可能な経営が行われている熱帯林から合法的に生産された木材の貿易を促進するための国際機関です。ITTOは日本に本部がある唯一の国連条約機関です。
- ▶ ITTOは、国際条約である国際熱帯木材協定 (ITTA) の下で運営されています。
- ▶ ITTOは全ての加盟国が参加する国際熱帯木材理事会 (ITTC) の決定等に基づき運営されています。
- ▶ ITTOの加盟国全体で、世界の熱帯林と熱帯木材貿易の大半を占めています。
- ▶ ITTOの事務局は、日本政府や横浜市の支援を得て1986年の創設以来、横浜市にあります。

ITTOの仕事

ITTOは、加盟国とともに次のような取り組みを行っています。

- ▶ 熱帯林の持続可能な経営のための政策や政策手段を立案・整備すること。政策手段の例としては、持続可能な森林経営のためのガイドラインや基準・指標などがあります。
- ▶ プロジェクト、調査、研修などの活動を通じて上記の政策を促進すること。
- ▶ 加盟国が実地するプロジェクトなどに必要な資金を提供すること。ITTOは、1986年の創設以降、4億米ドル近くの資金を提供してきました。この資金は無償資金として提供されているため、貧困国の負債が増えることはありません。
- ▶ 先住民族や地域住民も含めた幅広い関係者間との調整や共働を促進すること。
- ▶ 熱帯木材の生産や貿易に関する統計の収集・分析・提供を行うこと。
- ▶ 加盟国の人材育成を支援するためのフェローシッププログラムを実地すること。これまで、1,200人以上に対して、国際会議や短期研修コースへの参加、大学院での研究に奨学金を提供しています。

ITTOの活動

国際熱帯木材協定に定められた目的を達成するため、政策を立案し、その実現に向けて、加盟国が実地するプロジェクトを支援したり、ITTO事務局が直接調査を行ったりします。プロジェクトの大半は、政府、市民団体、民間企業など、国や地域レベルの様々な組織により企画・立案されています。ITTO事務局は、国際熱帯木材理事会の指示の下に、実施計画の監督やモニタリング、評価を行っています。

ITTOがたてる行動計画には、熱帯林の保全や経営、木材や木製品の貿易の促進、木材産業の復興など、幅広い項目が含まれています。例えば、国境をまたぐ森林保護区を設定するためのプロジェクトが多数あります。そのほか、木材製品の付加価値を高めるためのプロジェクトや、熱帯木材貿易の透明性を高めるためのプロジェクトもあります。

テーマ別プログラム

2006年に改定された国際熱帯木材協定 (ITTA, 2006) では、熱帯林に関する世界的に重要な課題ごとにテーマを定めて資金を募るテーマ別プログラムが新たに設けられました。2008年には、次の5つのテーマが承認され、熱帯林の持続可能な経営と合法的な熱帯木材の貿易を促進するというITTAの目標を達成するため、プロジェクトなどが実地されています。

- ▶ 森林法の施行、ガバナンスの強化と貿易 (TFLET)
- ▶ 森林の減少・劣化と削減と環境サービスの向上 (REDDES)
- ▶ 地域住民による森林の経営と事業化 (CFME)
- ▶ 貿易の促進と市場の透明性の向上 (TMT)
- ▶ 林産業の開発と効率性の向上 (IDE)

ご支援のお願い

ITTOの事業は、主に加盟国政府からの資金提供により行われていますが、ITTOの活動に関心を持ってくださる皆様からもご寄付を募っています。

詳細は下記にお問い合わせください。

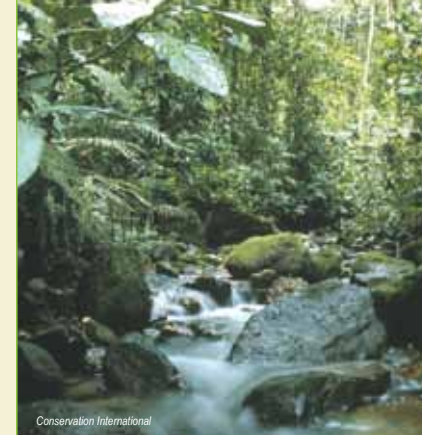
国際熱帯木材機関

〒220-0012 横浜市西区みなとみらい1-1-1
パシフィック横浜 横浜国際協力センター5階

Tel: 045-223-1110 Fax: 045-223-1111
Eメール: itto@itto.int © ITTO PR201305



www.itto.int



Conservation International



ITTO

熱帯林の 未来のために

私たちの多くは熱帯林が生活に必要なものを与えて

くれるのを当たり前のことと思っています。森林は木材を産出するだけでなく、さらに多くの恵みをも私たちにもたらしてくれます。



www.itto.int